

血管型エーラスダンロス症候群の臨床経過の研究

2010年1月1日より2016年12月31日までに当院の外来を受診され、遺伝子検査または生化学的検査によって血管型エーラスダンロス症候群と診断されている患者さん。

研究協力をお願い

当科では「血管型エーラスダンロス症候群の臨床経過の研究」という研究を行います。この研究は、2010年1月1日より2016年12月31日日本医科大学付属病院循環器内科に受診され、遺伝子検査または生化学検査によって血管型エーラスダンロス症候群と確定診断されている患者さんを対象とした研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきませんが、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：血管型エーラスダンロス症候群の臨床経過の研究

研究期間：2017年3月10日（倫理委員会承認日）～2019年2月28日

研究責任者：日本医科大学付属病院 循環器内科 清水 渉

(2) 研究の意義、目的について

血管型エーラスダンロス症候群の患者さんにどのような病変とくにどの血管に病気が多いのかを明らかにすることを目的とします

(3) 研究の方法について

2010年1月1日より2016年12月31日までに日本医科大学付属病院循環器内科を受診され、血管型エーラスダンロス症候群と診断されている患者さんの電子カルテから、COL3A1 遺伝子異常の有無、年齢、性別、診断のきっかけ、外来処方、血管型エーラスダンロス症候群に関連する臨床所見の有無、血管関連事故の詳細、CT 所見、観察期間、予後、等を電子カルテから調査することで、エーラスダンロス症候群の患者さんがどのような病変を持つのかを調査します。特に血管のどの部位に病変がおこりやすいのかに注目して研究を行います。「診療録とCT画像のデータ」の検討をする研究ですので、該当患者さんへの負担は一切ありません

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」、「同・倫理指針ガイダンス」、および「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 循環器内科 山本 剛

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：4370

メールアドレス：yamamoto56@nms.ac.jp